

請願文書表

令和6年第3回神奈川県議会定例会

令和6年9月26日

請願番号	19	受理年月日	6 . 9 . 20
件名	私学助成等について請願		
請願者		紹介議員	
横浜市神奈川区高島台7-5 神奈川県私立中学高等学校協会 理事長 工藤 誠一 外(1団体) 248人		原 聡 祐 佐々木 正 行	
<p>請願の理由</p> <p>神奈川県は近代私学発祥の地であり、県下の私立中学校・中等教育学校・高等学校は、独自の伝統と校風を守り、建学の精神を現代に生かし、有為な人材の育成に努力し、本県教育の充実発展に貢献してまいりました。</p> <p>幸い、本県においては、私学に対し、知事をはじめとする県当局並びに県議会議員の皆様の深いご理解とご支援のもとに、私学助成の充実が図られてきました。</p> <p>さて、今日、私学経営はますます厳しい時代に入っております。とりわけ経常費補助金については、全国的に見ると生徒一人当たりの単価は、高等学校(全日制)は国の財政措置額まであとわずかとなりましたが、中学校、中等教育学校はともに国の財政措置額を大幅に割り込み、全都道府県の中で最低の水準にあります。しかしながら、神奈川私学は県下後期中等教育の約三分の一という役割を担っていることから、県下教育を担当している責務の重大さを痛感し、県民に信頼される個性豊かで、特色・魅力ある学校づくりのため、一層努力する所存であります。</p> <p>つきましては、令和七年度私学助成に関し、下記の点に格段のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。</p> <p>請願の内容</p> <p>一、令和七年度の経常費補助については、一層の増額をお願いしたい。</p>			

請願番号	20	受理年月日	6 . 9 . 24
件名	政務活動費の調査研究費の大半を占めるガソリン代、高速代、駐車場代等の交通費の使用目的と使用者名を明らかにするよう指針の見直しを求める請願		
請願者		紹介議員	
藤沢市湘南台6-12-14 渡邊 誠 外84人		井坂 新哉 大山 奈々子 木佐木 忠晶	
<p>【請願趣旨】</p> <p>政務活動費の調査研究費はほぼ交通費として支出されています。その交通費の大半はガソリン代・高速代・駐車場代の支出とされていますが、伝票には調査の目的も結果の報告も記載されていません。</p> <p>また、調査研究費の支出伝票の83%は、使用者が特定できない無記名の支出伝票です。政務活動費運用の原則である必要性・妥当性・効率性・透明性が検証できるように、調査研究費の交通費について使用目的と使用者名を明らかにするよう指針の見直しを求めます。</p> <p>【請願理由】</p> <p>調査研究費は政務活動費の中でも政策立案のために交付されるもので諸経費の中でも重要な経費です。令和5年度政務活動費では5番目に多い3800万円で全体の6%近くを占めています。しかし、令和4年度の調査研究費の伝票の大半はガソリン代・高速代・駐車場・タクシー代等の交通費のレシートや口座支払の写しが添付されたもので、ガソリン代・高速代・駐車場代については調査目的や結果報告の記載はありません。</p> <p>電車代やバス代など公共交通機関の利用は僅かで、ガソリン代・高速代・駐車場代の支出が大半を占めています。早急な地球温暖化対策が求められている今日、議員がCO2廃止のため率先して公共交通機関を利用しようとする姿勢は感じられません。</p> <p>さらに、交通費の中でもガソリン代・駐車場代・タクシー代・回数券等の伝票は無記名で使用した議員名の記載がありません。</p> <p>このような使用者不明の伝票は、自民党では調査研究費1750枚のうち1287枚、立憲民主党・民権クラブは5200枚のうち4642枚、公明党は1436枚のうち1142枚、かながわ県民・民主フォーラムは389枚のうち246枚、共産党は13枚のうち4枚となっており、調査研究費全体では8788枚のうち83%にあたる7321枚が議員名不明の伝票です。</p> <p>政務活動費運用の原則である必要性・妥当性・効率性・透明性を確保するため、何に関する調査研究に、誰が使用したのかが分かるように「政務活動費の指針」の見直しを求めます。</p>			